

噂の娘 (1935)

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本

色彩 B&W

時間 55分

初公開日 1935/12/22

【解説】

チェーホフの『桜の園』にヒントを得て、成瀬巳喜男が脚本・監督を務めた作品。「妻よ薔薇のやうに」に続き、後に成瀬夫人となる千葉早智子が主演を演じた。

健吉は妻を亡くし、長女の邦江と一緒に酒屋を営んでいた。しかし隠居中の義父が浪費家で、店の経営は苦しくなるばかり。また次女の紀美子は毎晩のように男友達と遊び歩いていた。邦江は店の経営を立て直すため、家柄の良い相手と見合いをすることに。また彼女は、自分が家を出て行くことで、父の愛人に家に来てもらおうとも考えていた。しかし見合いは紀美子のせいでうまくいかないばかりか、見合い相手を紀美子に取られてしまう。そんな折、健吉は酒に細工をして利益を上げようとしていた…。

【クレジット】

演出 成瀬巳喜男

脚本 成瀬巳喜男

撮影 鈴木博

美術 山崎醇之輔

音楽 伊藤昇

出演	汐見洋	啓作
	御橋公	健吉
	千葉早智子	邦江
	梅園龍子	紀美子
	伊藤智子	お葉
	藤原釜足	叔父
	大川平八郎	新太郎